

登別市水道事業ビジョンを改定しました

問い合わせ 水道グループ (☎ 55110)

登別市水道事業ビジョンは、水道事業を取り巻く環境の変化に伴う課題に対し、持続可能な水道として着実な事業運営を行って行くため、水道事業の現状と将来見通しを分析・評価し、『安全』『強靱』『持続』の観点から目指すべき理想像を描き、その実現に向けて、水道事業運営に関する方向性と施策推進の基本的な考え方を示すものです。

現在の登別市水道事業ビジョンは、令和7年度で計画期間である10年が経過するため、現状の課題や国の動向を踏まえ、新たに令和8年度から令和17年度までの計画期間とし改定しました。

基本理念と理想像

理想像は、水道のあるべき姿を示し、基本理念は、関係者が取り組みを進める上での共通の目標となるように、事業の現状や地域特性などを踏まえて設定しました。

基本理念 暮らしを守り、信頼される水道供給を目指して
～登別の未来へつなぐ安全な水道～

【理想像】

- 安全** 需要者が、いつでも安全な水を飲める水道
- 強靱** 水道施設の適切な管理運営のもと、耐震化や危機管理体制の充実が図られ、被災した場合であっても迅速に復旧できる水道
- 持続** 給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

水道事業の沿革と施設概要

登別市の水道事業は、登別温泉上水道、幌別上水道、鷺別上水道として、昭和32年から35年にかけて創設し、昭和55年の区域統合により登別市水道事業としてから約46年が経過し、現在に至ります。

水道事業の施設は、3カ所の浄水場（うち1カ所は室蘭市と共同使用）、9カ所の配水池、3カ所のポンプ場、水道管路は約295kmあります。

現状評価と課題のまとめ

水道事業の現状評価として、水需要の動向は、平成26年度の給水人口は、49,504人でしたが、令和6年度には42,684人に減少しており、目標年度である令和17年度には35,563人となる見通しで、1日最大給水量も給水人口の減少に伴い減少傾向を示す見通しです。

また、現在の財政状況において、必要な施設整備を進めた場合、赤字経営となる見通しとなります。

この対策として、企業債借入額や施設整備費用の抑制、料金体系の見直しなどが想定されますが、将来を見据え慎重に検討する必要があります。

これらの結果から、安全、強靱、持続の観点で抽出した課題を次の表にまとめました。

基本目標	課題	基本目標	課題
安全	適切な水質の管理	持続	官民連携方策の推進
安全	水源の保全	持続	技術継承
安全	貯水槽水道への対応	持続	市民との連携
安全・持続	適切な施設容量の確保	持続	環境対策
安全・持続	施設の維持管理性の確保	持続	施設の運転監視・保守点検の職員負荷低減
安全・持続	施設の老朽化対策	持続	水道料金徴収の検針・滞納整理事務の職員負荷低減
安全・持続	有効率の改善		
持続	幌別浄水場の方向性について	強靱	水道施設耐震化の推進
持続	給水収益の確保	強靱	緊急時対応の強化

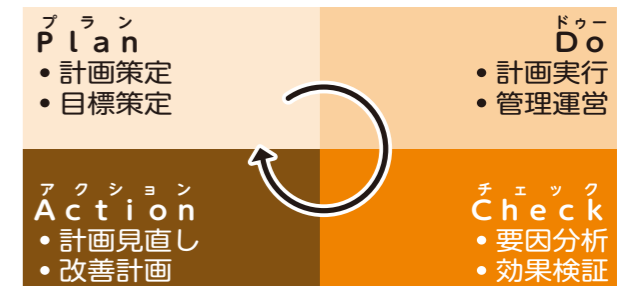
基本目標と今後10年間の取り組み姿勢

課題を解決するために基本目標を設定し、今後10年間で取り組んでいく内容を次の表に示します。

No.	基本目標	具体的な方策	具体的な施策	具体的な目標	
				中間(令和12年度末)	最終(令和17年度末)
1	安全	水質管理体制の維持	水質検査結果の公表の継続	継続	継続
			水安全計画の見直しを実施	—	見直し
			水道水の水質についての相談窓口を設置	設置	—
			塩素殺菌の役割の説明や塩素臭・カルキの解消方法を紹介する取り組みを検討	検討	—
2	安全	水源保全の継続	各種関係機関との連携の強化	継続	継続
			水源の監視の継続	継続	継続
3	安全	貯水槽水道の管理強化	受水槽設置者に対する清掃・検査実施依頼のPRを継続	継続	継続
			ウェブサイトに清掃依頼、検査依頼の具体的な方法を記載	記載	—
4	安全・持続	配水池容量の検討	低区配水池を適切な容量かつ維持管理が容易な別位置で更新	—	更新
			若草第1配水池の運用方針を検討	—	確保
5	安全・持続	施設の計画的な更新	事業計画に沿って施設を計画的に更新	管路更新率：1.0% 有効率：87.3%	管路更新率1.1% 有効率90.0%
			ダウンサイジングの検討	検討	検討
6	持続	施設整備計画の策定	室蘭市と実施している検討会を継続し、千歳浄水場運用の方向性を決定	決定（が望ましい）	決定
7	持続	財政基盤の強化と経営の効率化	水道施設のアセットマネジメントの推進と検討結果の活用	経常収支比率：100%以上 料金回収率：100%以上	経常収支比率：100%以上 料金回収率：100%以上
			料金改定も踏まえた財政計画の検討	—	—
			導入可能性調査の実施	—	実施
			幌別浄水場の無人化の検討	—	検討
			登別温泉浄水場の取水も含む全面委託検討	—	検討
			スマートメーターの導入検討	—	検討
			検針ルートの見直し	—	見直し
徴収業務の委託検討	—	検討			
8	持続	職員の技術力、組織力の強化	研修会への積極的な参加による技術強化	積極的参加を継続	積極的参加を継続
			他事業体や関係機関との交流や情報交換を実施	年1回以上	年1回以上
9	持続	情報公開	ウェブサイトに広報紙を通じた水道事業に関する情報の開示	継続	継続
			水道週間などのイベントによるPR活動の実施	継続	継続
			職場研修や施設見学などの積極的な受け入れ	年1回以上	年1回以上
10	持続	環境負荷の軽減	ウェブサイトに連絡フォームの設置	設置	—
			施設更新時に高効率機器の導入を検討	検討を継続	検討を継続
			適切な薬品注入量設定やポンプの稼働	検討を継続	検討を継続
11	強靱	施設の耐震化の推進	自然流下を主とした配水の継続	継続	継続
			耐震化計画に沿って計画的に取り組む	導水管耐震化率：82.0% 浄水施設耐震化率：27.3% 配水池耐震化率：71.8% 排水管耐震化率：11.5%	導水管耐震化率：82.0% 浄水施設耐震化率：27.3% 配水池耐震化率：88.3% 排水管耐震化率：13.8%
12	強靱	危機管理体制の維持・強化	自然災害や水質事故などによる給水停止を想定した訓練の実施	年1回以上	年1回以上
			応急給水栓の段階的な設置を継続	設置継続	設置継続

フォローアップ

- 本ビジョンで示した施策を確実に実施していくため、次のことに留意して事業運営に取り組みます。
- ①本ビジョンの目標の達成状況、進捗状況を公表します
 - ②PDCAサイクルに基づき、継続的に改善を図りながら、効果的・効率的に事業を運営します
 - ③本ビジョンは、変化する事業環境に対応するため、必要に応じて見直しを検討します



『登別市水道事業ビジョン（本編・資料編）』は、水道グループ、各支所、市民会館、登別市公式ウェブサイトでご覧いただけます。